

工業団地

○長泉工業団地

住宅と工場の混在による公害防止のため、1974年（昭和49年）公害防止事業団（現「環境事業団」）と長泉工業団地協同組合が事業主体となって、町北部地区に内陸型工業団地を計画しました。開発面積は18.4ヘクタールで、1982年（昭和57年）に造成が完了し、1984年（昭和59年）から操業が開始され、現在17社が操業しています。



長泉工業団地



富士長泉工業団地

○富士長泉工業団地

1987年（昭和62年）静岡県の「富士山麓研究産業集積ゾーン」形成の一環として位置づけられ、東名高速道路や国道246号など、交通アクセスにも恵まれたこの地に計画されました。静岡県土地開発公社が事業主体となり、1989年（平成元年）に造成が完了し、以後順次建設が進み、現在13社が操業しています。開発面積は20.7ヘクタールとなっています。

○長泉一色工業団地

市街地に点在する小規模工場の生産環境の改善を図るとともに、一般住宅との混在による公害防止を目的に環境事業団と長泉一色工業団地協同組合が事業主体となり、1990年（平成2年）に計画されました。開発面積は4.7ヘクタールで、1996年（平成8年）に造成、1997年（平成9年）に建設が完了し、現在14社が操業しています。



長泉一色工業団地



ファルマバレー長泉工業団地



静岡県立静岡がんセンター

○ファルマバレー長泉工業団地

静岡県が進めるファルマバレープロジェクト（富士山麓先端健康産業集積プロジェクト）に基づく事業として、町が県立がんセンター周辺地区に健康・医療関連企業等を誘致するため、県企業局が事業主体となり造成を進めました。開発面積は2.7ヘクタールで、2007年（平成19年）4月からライフサイエンス分野事業の新拠点として民間事業者が業務を開始しています。